



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第40号 2016.10.

日本地質学会 第123年学術大会にて発表を行ないました。

3階常設展示資料の「幸太郎石」の形成過程などを検討した、日本でも初めての研究発表！今回は、ポスターによる研究発表で、「優秀ポスター賞」も受賞しました！

9月10～12日に東京で開催された、日本地質学会第123年学術大会にて、東 学芸員が「幸太郎石：蛇紋岩に捕獲された、高圧変成作用を受けた蛇紋岩関連オリストストローム」の題目でポスターによる研究発表を行ないました。

幸太郎石は、美しい藍青色で、凹凸も著しい独特の景観を有する銘石として珍重されてきたものですが、その地質学的意義については今まで一切検討されていませんでした。当館3階には、寄贈いただいた幸太郎石の資料が展示してありましたので、その資料についての研究発表となりました。

幸太郎石に関する研究としては、初めての研究になります。今回の発表では、幸太郎石の特徴や、でき方、それらに大きくかわる日高の地質の成り立ちおよび幸太郎石の新しい知見を発表しました。また、これらの研究成果から、北海道のほかの地域でも、調査の必要性が出てきました。発表したポスターについては、日高山脈博物館3階の幸太郎石展示の近辺に、縮小したものを設置する予定です。内容などはお気軽に学芸員までおたずね下さい。

また、今回のポスター発表においては、「優秀ポスター賞」を受賞することができました。優秀ポスター賞は、1日あたり80～100件のポスター発表の中から、3～5件程度、審査を経て選ばれるもので、それに見事選ばれました。

なお2004年には、日本地質学会より、日高町が日高山脈博物館（当時は日高山脈館）の活動に関係する表彰（表彰内容は「日高山脈館による地質学の普及と野外調査活動の支援」：表彰状は4階に展示しています）をいただいております。

当館は、地質や岩石がメインの博物館です。今後もこのような賞などをいただけるよう、さらなる活動を行いたいと思います。

※ 東 豊土・加藤孝幸・和田恵治・斉藤晃生・佐々木克久, 2016, 幸太郎石：蛇紋岩に捕獲された、高圧変成作用を受けた蛇紋岩関連オリストストローム. 日本地質学会第123年学術大会講演要旨, 202.



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。